



活動報告2025

加藤の「これまで」「いま」「これから」
をお伝えします。



ともに、生きる。

朝来市議会議員
加藤たかゆき

加藤の強み

自身の強みを生かして、朝来市のために活動しています。

41歳 移住11年目

地域への愛で考えます
朝来市全体の視点で動きます
20年後を起点に考えます
こどもの幸せが基本です
多様性を重視します
しがらみ・忖度ありません



調査力・分析力・提案力

地域を歩いて声を聴きます
データをもとに分析します
常識に捕われず大胆に提案します
長いものにはまかれません
論理と熱量で語ります
紙とSNSで細かく報告します

加藤たかゆきのキャッチフレーズは「ともに、生きる」です。急激に人口減少が進むなか、多様な人が活躍できるように、個人や地域の個性を活かせるように訴えていきたいと思っています。具体的には以下の3分野12施策を中心に考えます。



朝来市創生総合戦略表紙

言うても人は減る
自然を増やす
地域の個を活かす
多様性を包みこむ

こどもまんなかの町
上質な観光の推進
幹線バスの増便
シン・メインホール

是々非々でいく
地域の飛脚となる
議会の中心に立つ
提案型の議会へ

共生のまち朝来市

人口減少を受け入れます。その中で人のつながりや自然の豊かさ、地域の個性といった昔からある良いものを活かして、まちづくりを進めます。

① 言うても人は減る

急速な人口減少は確実です。人口減少への対抗ではなく、対応をします。減少する税収入で賄える市政を基本とします。行政の無駄は徹底的に省きます。その上で、若者・女性に選ばれるまちづくり、関係人口の創出により持続可能な朝来市を作ります。

② 自然を増やす

朝来市の最大の財産は自然です。自然を増やすまちづくりを基本とします。住めない空家の解体と、住める空家の改修を促進します。農のある暮らし、木陰の散歩道、こどもの川遊びを守ります。オオサンショウウオから有害鳥獣、野良猫まで、動物と人との適切な共生を考えます。林業、環境教育、農業・自然観光、自然エネルギーの促進により、自然から収益を生みます。

② 地域の個を活かす

朝来市は4町合併の広い町です。生活面では、人口減少に対応して施設やサービスの統合を進めますが、同時に公共交通の充実によって利便性を維持します。その上で、生野は自然と歴史を活かした観光、和田山は竹田城の観光と北近畿の中心都市としての商工業、山東は有機農業や酒造り、朝来は生涯学習と自然エネルギーの町として自立・連携を図ります。

③ 多様性を包みこむ

年齢・性別・出身・国籍・障害等にかかわらず、一人一人が家族・職場・地域の中で自分らしく過ごす、あるいはリーダーとなるまちづくりを推進します。特に外国人の介護分野での活躍、女性に選ばれる地域づくり・職場づくりを進めます。

持続可能な生野町

生野ならではのものは増やします。他でもできることは減らします。公共交通を充実させ、減らしても不便が無いようにします。

① こどもまんなか生野町

「こどもの幸せ」をまちづくりの中心に据えて、こども当事者、保護者の方々、地域の方々と対話を重ねながら考え、実行していきます。将来の学校の在り方については、存続ありきではなく、こどもの学びと育ちのために最適な方法を考えます。生野学園を中心とした不登校児に優しいまちづくり、黒川地域を中心とした先進的な環境学習のまちづくりを進めます。

② 奥銀谷地域の観光の推進

奥銀谷には日本でもここだけの自然・歴史遺産があります。それを守りつつ地域として自立するには、上質な観光地としてまちづくりを進めるしかありません。生野銀山と奥銀谷地域自治協議会の連携を深め、鉱山と鉱山町を一体的に体験できる観光商品を作ります。黒川地域に建設中の(仮称)自然環境保護施設を活かし、都市部や海外からの環境学習・環境観光の拠点とします。

③ 生野～和田山間のバスの増便

朝来医療センターや和田山イオンにはまだまだ伸びしろがあります。そのために、市民が使いやすい交通を整えるべきです。和田山～生野間の幹線バス、特に山口～生野間のバスを増便し、生野町民が和田山に通院・買い物しやすい環境を整えます。

④ シン・マインホール

生野マインホールは今と同じ用途のまま大規模改修を行うべきでしょうか？市内に同様の施設があるので、同じ文化ホールとしての改修は不要であると加藤は考えます。市内の既存施設と用途が重ならず、生野らしい施設となるよう検討をします。

市政を動かす議会

議会は議員同士で足を引っ張りあう組織ではなくて、議会一丸となって市長と対峙し、市政を動かすチームです。加藤は個人の議員力を高め、議会の中心で活躍できる人材になります。

① 是々非々で行く

加藤は引き続き従来の慣習、地域や支援者の局所的な利益、議会や会派の多数意見には忖度しません。市民全体の福祉の向上のために何が最適な判断を常に下します。そのためにデータ分析能力を高め、データに基づく客観的な提案を行います。

② 地域の飛脚となる

引き続き、まちづくりニュース3000部のポスティングを議会ごとに行います。加藤の政策をお伝えするとともに、市内をくまなく歩きながら市民一人一人の声を聴き取ります。SNSでのきめ細やかな発信についても継続します。

③ 議会の中心に立つ

委員会の委員長や議会運営委員会等に積極的に立候補し、議会を中心的に進めていきます。情報公開の徹底、AIの活用、多様な市民意見の取入れ、女性や若者が立候補しやすい仕組みづくりなど、議会改革を進めます。

④ 提案型の議会へ

一般質問で市長に「検討します」と言われるのが議会の限界ではありません。一般質問での個人提案を委員会の調査事項に上げ、その調査結果を議員全員で協議し、決議として議長から市長に提出し、その後の実行結果をチェックする、そのような流れを作ります。

4年間の活動概要

2021/11

2025/10

朝来市議会議員

定例会(年4回)・臨時会での議案審議、一般質問

文教民生委員

会期中の議案審査・会期外の調査

広聴広報委員

議会広報の発行・委員長(23/11~24/7)

特別委員会等

政治倫理審査会、百条委員会、議会改革特別委員会

南但広域組合議員

養父市との共同事業(ごみ処理・消防・情報システム等)についての審議

ここまでの報酬や交通費支給の対象となるいわゆる「公務」

会派「清風の絆」

会派での研修・視察出張等

出張等は議会予算の「政務活動費」を使つての活動

個人活動

市内外での訪問調査、文献調査、情報発信等

数字で見る加藤たかゆき [21/11-25/6]

6回 市長提案反対回数

15回 一般質問回数 議員中1位タイ

1,756回 発言回数 議員中5位

4,708,844文字 発言量 議員中2位

15回 会報発行回数

47,900枚 会報のべ部数

ほぼ毎日 SNS投稿

議案等の主な賛否

議会	番号	議案	概要	加藤	理由	議会	その後の動き
23/3	発議4号	生野庁舎整備事業の一時停止	鉄筋・木質化造と木造の詳細な比較がないまま設計を進めるべきではない	賛成	生野町が環境と共生するまちづくりを進めるため、本物の木造建築が必要だ。	賛成多数	当局から設計比較の提示あり。検討の結果、鉄骨造で正面に黒川産檜の柱を使う設計に決定。
23/3	発議5号	新年度予算の一部執行留保	全天候型運動場を和田山医療センター跡地に建設する計画は再考をすべき	賛成	市全体の都市計画、特に観光地としての竹田との整合性がない。	賛成	当局にて再度場所の検討を実施。中央文化公園内に設置する計画。
23/12	議案49号	職員給与条例改正	正規職員は給与改定を4月に遡及適用するが、非正規職員には適用しない	反対	非正規職員に対する差別であり、総務省の改善通知にも反する	賛成多数	24/12議会議案69号にて非正規職員の4月遡及が実現
23/12	議案50号	特別職期末手当の改定	市長・教育長の期末手当改正に伴い、議員の期末手当も約3万円上げる	反対	議員の職員へのハラスメントで揺れる渦中であり、市民の理解を得られない	賛成多数	24/2全議員対象のハラスメント研修を実施。24/12ハラスメント防止条例を制定
23/12	議案64号	補正予算	物価高騰対策として、市水道の基本料金を3か月免除する	反対	特設水道、地区水道を利用する5地区約130世帯が恩恵を受けられず不平等である	賛成多数	25/6議会でも同様の提案があり、加藤から同様の議論を実施

議案等の主な賛否〔2〕

議会	番号	議案	概要	加藤	理由	議会	その後の動き
24/3	議案 4号 修正案	デマンド型 乗り合い自 動車運行条 例の修正	自宅を乗降場所にする場 合、自宅登録が必須であ る旨を条例上に追記する	反対	自宅登録はあくまで付 加的な制度であり、規 則等で規定すればよい	賛成多数	
24/9	発議 6号	議員定数条 例の改正	25/10の市議会議員選 挙から、議員定数を現行 の18名から16名に減ら す	賛成	人口減少の中、あらゆ る職業が少ない人数で 成果を上げる努力をし ている。議会もそれに 合わせるべき。	賛成多数	その後の論点として、委 員会数について、現行の 3を維持するか2に減ら すかを議論中
24/12	請願 4号	野良猫の手 術費用の助 成を求める 請願	飼い主のいない猫に対す る不妊・去勢手術費用の 助成制度の創出を市に求 めるもの	賛成	市内各地で野良猫のト ラブルがあり、頭数削 減のため多くの市民が 自費で手術をしている。 公共性のある課題だ。	反対多数	
25/6	議案 49号	選挙運動公 営条例改正	選挙ポスター制作費の公 費負担の単価分を現状 541.31円から586.88 円へ引き上げる	反対	現状で十分な単価が設 定されており、基準を 上げることで税負担の 不要な増加につながる 懸念がある	賛成多数	

政治倫理審査会等の賛否

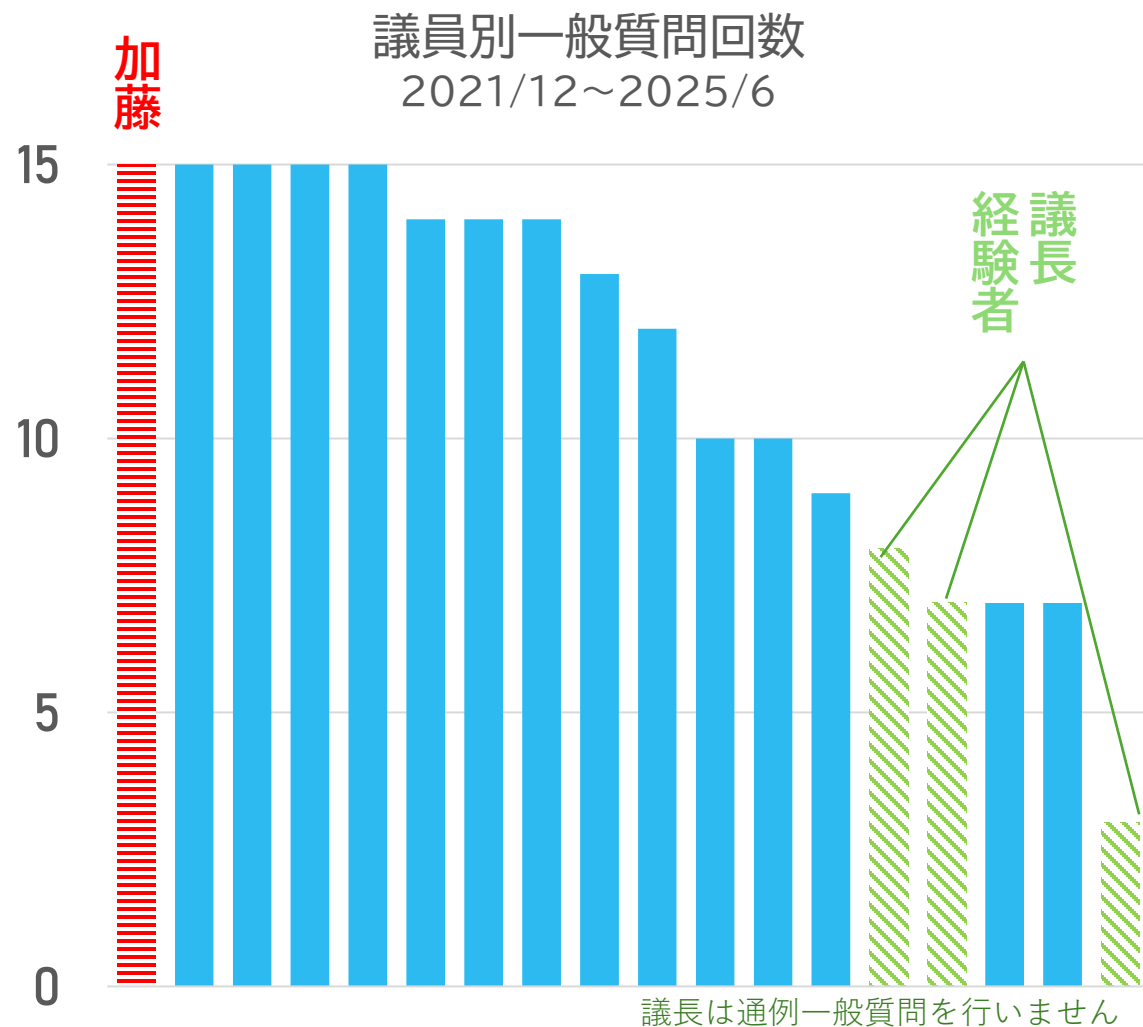
議会	番号	対象	対象事案	議案	加藤	理由	議会
23/12	政倫 審1次	藤本 議員	給食地産地消に関する説明会への出席	政治倫理条例 違反(契約介入)	賛成	給食センターHPで市場価格で買うことが明記されているため、説明会はすでに契約の段階にある	賛成多数(議長注意)
24/3	政倫 審2次	藤本 議員	同上	政治倫理条例 違反はない	賛成	説明会の議事録等の新たな情報から、当日は野菜購入について具体的な話をしておらず契約ではない	賛成多数(議会として名誉回復の措置を実施)
24/12	政倫 審28号	吉田 議員	本会議(中小企業振興条例)での同僚議員への侮辱発言	政治倫理条例 違反(名誉棄損)	賛成	委員の資質を問うた発言は正当な議論の範囲だが、条例改正の全権委任という批判は不適切	賛成多数(議長厳重注意)
24/12	政倫 審29号	吉田 議員	委員会(農産物振興事業)での同僚議員への名誉棄損発言	政治倫理条例 違反(名誉棄損)	賛成	全くの事実無根の発言によって名誉棄損をすることは許されない	賛成多数(議長厳重注意)
24/12	政倫 審30号	吉田 議員	委員会(農産物振興事業)での地域団体への名誉棄損発言	政治倫理条例 違反(名誉棄損)	反対	契約のフロー図が不適切であることを指摘する発言であり倫理違反には当たらない	賛成多数(議長厳重注意)

政治倫理審査会等の賛否〔2〕

議会	番号	対象	対象事案	議案	加藤	理由	議会
24/12	請願 2号	吉田 議員	市民の対話要請に対する 強い態度での拒否	辞職勧 告要求	反対	議員個人に対話の責務はあるが、議 会としても対話の責務がある	賛成多数により 辞職勧告
24/12	請願 3号	吉田 議員	本会議での法制担当職員 に対する職業差別発言	辞職勧 告要求	賛成	議員という立場から非正規職員とい う立場を見下す発言は決して許され ない	賛成多数により 辞職勧告
24/12	百条 委	関議 員	請願3号賛同人へ戸別訪 問による賛同辞退の発生	辞職勧 告要求	反対	関議員の行為は請願法や個人情報保 護条例に反するが反省の余地はある	賛成多数により 辞職勧告
24/12	百条 委	吉田 議員	請願3号賛同人の名簿を 自身のLINEグループに 送信した	辞職勧 告要求	反対	吉田議員の行為は違反行為ではある が、議会でパスワードをかけるなり大 元の対策をとるべき	賛成多数により 辞職勧告
25/3	懲罰 委2	吉田 議員	本会議での市長の施政方 針演説を遮って昼休憩を 要求した	戒告	賛成	議長の指示に従わず度々不規則発言 を繰り返した行為は容認できない	賛成多数により 議長から戒告
25/3	懲罰 委1	関議 員	百条委員会報告書に対す る自らの弁明陳述中に、 市民や議会に対して無礼 な言葉を用いた	除名	反対	関議員の発言には問題があるが、除 名という処分は判例や他自治体の事 例に照らし合わせて重過ぎる	賛成多数により 除名 ※裁判所の決定により 6/9から復帰中
25/3	百条 委	吉田 議員	百条委員会の証人尋問中 に虚偽の陳述を行った	告発	反対	吉田議員の発言は虚偽の蓋然性が高 いが、それを立証できる可能性は低い	賛成多数により 告発を実施 ※5/16受理

一般質問

全15回の本会議すべてで一般質問を実施！



加藤たかゆき2021-25

一般質問 提案件数

こども	15
地域	8
環境	6
交通	5
産業	4
人権	3
福祉	2
税	1
デジタル	1

一般質問の状況

地域課題

加藤の提案	市の変化
消防団報酬の直接支給(22/6)	直接支給の実施(23/4)
新生野庁舎への交流型図書スペースの設置(23/6)	「本と人をつなぐ出会い・発見の場」の方針(24/3)
市営住宅の若者向け入居要件の緩和(23/6)	条例改正を行い入居条件を緩和(24/4)
自治協の包括交付金のあり方の見直し(24/3)	光熱水費自費負担分の上乗せ(24/4)
支所への市章設置(25/3)	生野・朝来の新支所に市章を設置する計画

子ども・子育て

加藤の提案	市の変化
通所型産後ケア事業の拡充(22/6)	産後ケア実施場所の増設(22/12)
緊急一時保育の充実(22/9)	里親ショートステイの検討(24～)
学校のお便りのデジタル化(22/9)	こども園でのデジタル連絡網導入(23/11)
朝来医療センターでの妊婦検診(22/12)	医療センターへの産婦人科設置(23/9)
陣痛時のタクシー利用の支援(22/12)	①妊産婦交通費補助制度の創設(23/4) ②タクシー運転手への陣痛時対応研修実施(23/9)
児童館の設置(23/3)	こども計画の中で検討
ファミリーサポートセンターの活性化(24/6)	市内プレーパークへのセンター職員の参加
和田山高校生への市役所空きスペースの開放(24/9)	JR各駅での待合いスペースの整備に向けて検討
全国こども絵画選抜展の学校選抜見直し(24/12)	学校選抜をしない方向で検討(25/3)

一般質問の状況^{〔2〕}

環境

加藤の提案	市の変化
ゼロカーボンシティの表明(22/3)	表明の実施(25/8)
市内産木材の活用促進(22/3)	新生野庁舎での黒川産木材使用
黒川地区の自然保護と観光の両立(23/3)	黒川自然環境保護施設(仮称)の建設
住めない空き家の解体促進(24/6)	朝来市版「住まいのエンディングノート」配布(24/11)

公共交通

加藤の提案	市の変化
黒川地区アコバスの見直し(21/12)	あさGOの導入(23/1～)
生野町内から朝来医療センターのアクセス改善(21/9)	「幹線となる路線バスについて増便をお願いしている」(25/3)
バス待ち環境の整備(24/9)	生野駅西口待合室へのスライドドア設置(25初)

人権・多文化共生

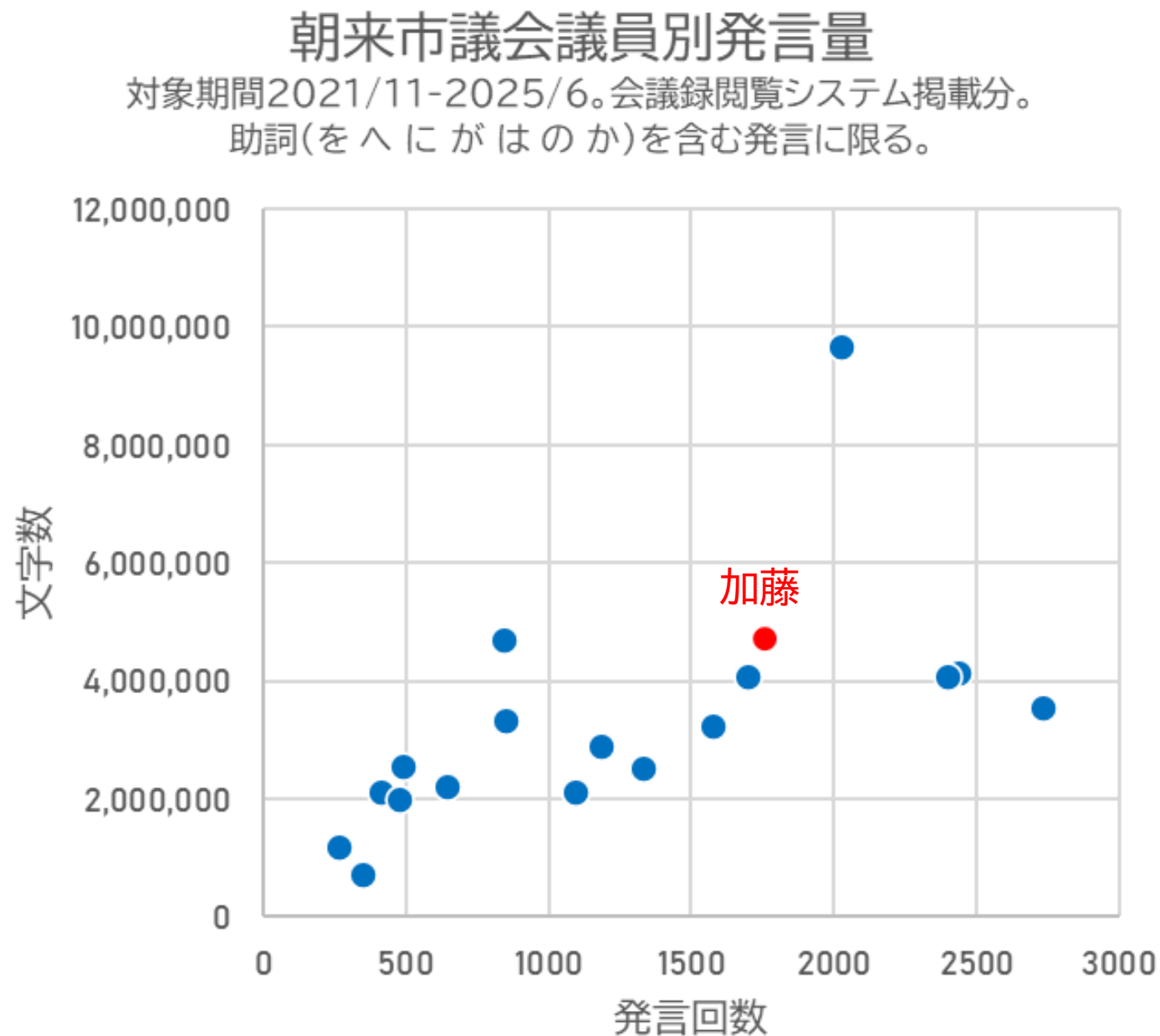
加藤の提案	市の変化
多文化共生推進計画の策定(22/6)	市内外国人に対する意識調査の実施(25年度)
日本語が不得手な子供への学習機会創出(23/12)	日本語教室内の特別枠での支援開始(24～)
新産業団地には女性に選ばれる職場づくり、環境を整えるべき	女性や若者に選ばれる成長産業を誘致していきたい

発言量

「●●議員」などの単純な呼びかけ
発言を除いた発言の量をインター
ネットの会議録閲覧システムから
測定した。

発言回数
1756回(5位/18名)

発言文字数
4,708,894文字(2位/18名)



情報発信

これまでの15回の定例会ごとに「あさごまちづくりニュース」を約3000部発行。生野町内および市内各所に手配りでポスティングしています。4年間を通じて市内の約12,000世帯ほぼすべてを1回は回りました。また、SNSはFacebookを中心に、ほぼ毎日議会の様子を発信しています。



加藤 貴之

6月30日 17:31

6月議会最終日。追加議案として定額減税の給付しきれていない方についての補正予算や、黒川の自然保護施設の契約についての議案が上がる。黒川施設については文教委員会が審議。1回目の入札で3者が応札したが全者とも予定価格以上だったので再度入札になり、2回目に4000万円減額した者が落札した。4000万円も減額して、下請けへの皺寄せは無いのか？... さらに表示

基準額							実績額		
自治体	制定日	算定根拠	企画料	印刷単価	掲示場数	単価	適用日	選挙種類	単価
朝来市	2008年9月	国基準	310,875	510.48	342	1,381	2013年10月	市議選	540
朝来市	2018年9月	国基準	316,250	541.31	341	1,436	2021年10月	市議選	1,285
朝来市	2025年6月	国基準	316,250	586.88	341	1,514			
中央市	2024年11月	実勢価格	231,000	220	254	1,129			
加東市	2009年12月	実勢価格	120,000	250	166	973			

あさごまちづくりニュース

Vol. 14
2025/05

朝来市
八丁の誓い!



加藤 たかゆき

朝来市議会議員
後援会

朝来市は2005年4月1日に誕生。二十歳です。3月議会一般質問で加藤は、市の次の20年の未来予想図を市長と対話しました。「チーム朝来市」として市民一体で人口減少を乗り切り、地域の強みを活かして楽しい町を作っていきます!

朝来市各区の2006→24人口増減率



1 旧町意識から市の一体感へ
3支所の目立つ場所に市章を設置すべき
生野・朝来は支所の建替えに合わせて設置したい。山梨は今後検討。



市役所本庁舎の市章

2 三世代近居と都市的暮らしの両立
若い世代には、親世代との近居と都市的な生活の両立を望む方が多い。住宅取得等応援補助金の近居の範囲を拡大し、同一市内の近居に算入をすべき。
集落の維持や子育て支援、高齢者の孤立防止の観点から、現在同一区内を対象に近居加算を設定している。若者の価値観も考慮し、拡大も含めて検討したい。



3 交通の要所として商業の伸びしろあり!
市内商業施設・商業地の活性化のため、空き店舗バンクを創設すべき。
空き店舗は民間不動産事業者が斡旋している。空き店舗対策は調査研究したい。



近隣の商業施設 和山山ショッピングセンター(21,677㎡)は北近畿最大の施設面積で開業25年間不動の地位。
データ元 (一)日本ショッピングセンター協会 地図 Google

4 公共交通の充実が人の流れを変える
生野・山口間のバスの増便に向けた取り組みは、生野方面から医療センター、イオン等に行きやすくなるよう、路線バス再編の協議の中で、幹線の増便をお願いしている。

時 6	7	8	9	10	11	12
生野駅 23	59	49	07	50	02	07
山口	6:57	8:18	8:57	9:37	10:52	12:18
新井駅	6:33	7:06	7:09	8:04	8:23	9:00
和山山駅	6:50	7:47	7:26	8:25	9:04	9:17
JR	全世	JR	全世	JR	全世	JR

時 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
生野駅 13	50	56	24	37	36	47	12	22	22
山口	14:01	14:56	17:39	17:47	18:46	19:57	21:22	22:32	22:49
新井駅	13:23	14:06	15:01	15:12	16:34	17:44	18:08	19:03	20:14
和山山駅	13:40	14:47	15:42	15:30	16:51	18:25	18:08	19:03	20:14
JR	全世	全世	JR	全世	JR	全世	JR	全世	JR

生野から和山山へのJRとバス時刻 4月1日現在。山口(新井)・和山山間は1日に鉄道13往復、バス8往復。一方、生野・山口(新井)間は鉄道13往復だが、バスは3往復、商業施設や病院を結ぶ幹線バスの増便は市内の経済循環・医療体制維持等に重要だと加藤は考える。

そのほか ⑤Aデータセンターの誘致、⑥中心市街地での自動運転循環バスの運行、⑦仏バルビゾン村との観光分野での協力、⑧黒川地区等を対象にした空飛ぶクルマ着陸場の設置検討 について質問をしました。

加藤貴之 プロフィール



1983年東京生まれ。私立開成高校、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。

会社員の傍ら国内外で歩き旅をしながら地域活性化を行い「飛脚の加藤」の名で活動。

2014年地域おこし協力隊として朝来市に移住。コロッケの移動販売「ふれあい屋台」で地域を盛り上げる。

2017年から生野きらくえん グループホーム職員。2021年から朝来市議会議員。

妻(喫茶店経営)と子供2人(小1, 小3)の4人家族。趣味は俳句とカラオケ。

【現在の活動】

- 朝来市議会議員
- 朝来市消防団 生野町第3分団 団員
- ふれあい屋台おくがなや(月1回程度)
- 生野なずな俳句会 メンバー(月2回)
- 家庭教師(週1回程度。中学生～高校生)
- 奥銀谷地域自治協議会 ホームページ担当
- shima fes setouchi 出店・HP担当
- 自由民主党党員。自民党生野町支部役員。
- あさご日本語教室 ボランティア(週2回。山東教室およびこども支援)
- (一)但馬多文化共生支援機構 メンバー(にほんごクロフネ 塾長)
- NPO法人海運堂 正会員(プレーパークの運営)
- 朝来の猫を救い隊「なべ猫の会」オブザーバー(地域猫活動の推進)

住所 679-3322 兵庫県朝来市生野町奥銀谷1513

電話 090-4494-6175 メール takayuki1983@gmail.com



LINE



Facebook



Instagram